

「高出の歴史は古くても実際は新しい地域」

1. 高出の位置と高出の名の由来？ （諸説あり定かではない）

高出の位置 南の里山から続く広い桔梗ヶ原台地上（高台）の南東端に位置
東の山から昇る太陽（朝日）が段丘上の台地を朝一番に照らす？

高い所に日が出る →高日出 →高出（神社名称 →高日出神社）

段丘上で水が湧き出る？ 現在でも湧水箇所がある 高い所で水が出る→高出

2. 高出は古代遺跡の宝庫？ （市内でも平出に次ぐ遺跡が多い地域）

生活用水と食料が入手しやすい環境 田川の流れと自然に湧き出る水が豊富
昭和20年代後半まで高出の殆どが松林や雑木林であり 動植物の食糧が入手
しやすく 古代人の生活に適していた？

高出交差点のある和手から丘中まで12ヶ所の遺跡 縄文弥生土師古墳時代の
平出遺跡より古い年代の遺跡かも？ 旧石器（無土器）時代の遺物も出土している
高出には今から6千年～1万年も前から古代人が生活を営んでいた？

3. 高出は古い時代から過疎的な土地柄？ （交通道路に恵まれずに）

地理的や歴史的にみて塩尻市は何時の時代も交通の要地

古代～ 中山道（奈良井宿 贄川宿 洗馬宿 本山宿 塩尻宿）

三州街道（塩尻宿 小野宿 愛知岡崎）

五千石街道（塩尻宿 松本）

善光寺街道（郷原 松本）

街道には人流が必然的に多くなり 宿場を中心に街が出来て賑わう

近代～ 国道19.20.153線 JR中央本線 篠ノ井線

☆ 塩尻は交通の要地であっても高出は街道と街道とに挟まれた人流の少ない
過疎的な寂しい土地柄が戦後（昭和30年1955年頃）まで続いた

4. 新たな高出の夜明け？ （国の施策と住民の熱意が実る）

今から約80年前（昭和35年頃）までの高出は和手や芝茶屋付近に家屋が約200軒
人口約450人の小さな村だった

昭和21年国の緊急開拓政策によって九里巾から南の松林や雑木林に地元の開拓者
が入植開墾する 九里巾交差点近くに「開拓の碑」がある

開墾に平行して昭和29年（1954年）から開墾地の区画整備等の土地改良工事を行う
高出地区センター隣りに「土地改良の碑」がある 縦や横の道路整備 野菜や果樹
を作る為の畑が出来る

5. 肥大化する高出？ （成長と発展の一途を歩む）

昭和39年(1964年) 国が松本塩尻諏訪地区を「新産業都市」に指定

※「新産業都市」とは 人口や産業の一極都市集中を避け地方に分散して

産業振興や雇用促進を目的 国内15地区を指定

国道19号 20号153号が整備拡張され 高出から松本境の吉田の国道19号沿線を中心に住宅地や工場建設地の開発が進み個人の住宅やアパート建設も盛んになる 商業や工業の誘致より大型商業施設や大企業等の工場が著しく進出して来た 近隣の市町村(特に岡谷諏訪地域)からの人口流入が多くなって来た

6. 高出が広丘地区から分離独立？ （自立の高出へ）

広丘地区は郷原 堅石 原新田 野村 吉田 高出の6地区で構成されていた世帯数や人口増加により先に吉田が広丘地区から分離独立し吉田地区に平成17年(2005年)高出も世帯数や人口増加により広丘地区から分離 高出地区に平成から令和になっても高出は国道の東を主に住宅地の開発があり世帯数や人口数の増加が見られている

7. まとめ

町の賑わいは古くは人流のある街道筋の宿場(旅籠)であり やがて鉄道の開通により駅中心の大門地域が賑わいの中心となった

高出はいにしえの時から人流の少ない過疎的地域であったが 新産業都市指定と共に国道19号線の整備により昭和40年頃(1965年)から急激に世帯数人口共に増加最近では高出を含む広丘地域一帯が塩尻市の賑わいの中心になりつつある

唯一塩尻市内で成長発展している地域となっている

高出には保育園 小学校 高等学校等学びの施設 市営球場や中央スポーツ公園の施設 市消防本部庁舎等がある 国道19号高出交差点から吉田地区への沿線には商業施設や工場が連なるも 開発可能な土地も少なく将来 現在以上の成長や賑わいが展望出来るか不安の要素もあるのが現実である

高出地区世帯数と人口の推移 と広丘地域別世帯数と人口比率(2024/04/01現在)

年 別	世帯数	人 口	地 域	世帯数	人 口	比 率
昭和35年(1960年)	193	1,085	高出地区	3,463	7,677	11.73%
昭和40年(1965年)	375	1,524	郷原区	701	1,478	2.25%
昭和50年(1975年)	694	2,552	堅石区	1,047	2,557	3.90%
昭和60年(1985年)	1,447	4,236	原新田区	1,903	3,980	6.08%
平成05年(1993年)	1,930	5,469	野村区	2,857	5,629	8.60%
平成10年(1998年)	2,250	6,085	吉田地区	4,308	9,365	14.31%
平成20年(2008年)	2,553	6,581	塩尻全体	29,056	65,435	46.89%
平成30年(2018年)	3,165	7,538	大門七区	1,835	4,013	6.13%
令和06年(2024年)	3,463	7,677				
塩尻市全体令和5年	29,056	65,435				